TOSHIBA

東芝換気扇取付説明書（ダクト用）

販売店・工事店さま用

居間・事務所・店舗用

形名

（Rタイプ）
DVF-G14RDA3, G14RDAC3
DVF-18RDA3, 18RDAC3
DVF-20RDA3, 20RDAC3
DVF-23RDA3

（FPタイプ）
DVF-G14FPDA3
DVF-18FPDA3
DVF-20FPDA3
DVF-23FPDA3

- この換気扇の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくためにこの取付説明書をよくお読みください。（形名により図が一部異なります。）
- この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。
- 別売部品をご利用ください。（詳しくはカタログをごらんください。）

安全上のご注意

- 取付の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

表　示	表示の意味
⚠警告	誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財およびペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

表　示	図記号の意味
改造禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「改造禁止」を示します。
アースを接続する	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「アースを接続する」を示します。

- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。

⚠警告

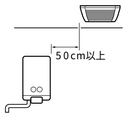
改造禁止	**改造はしないこと** 火災・感電・けがの恐れがあります。
分解・修理禁止	**修理技術者以外の人は分解、修理（※）をしないこと** 火災・感電・けがの恐れがあります。 ※：修理はお買上げの販売店またはお近くの東芝家電製品のお客様ご相談センターにご連絡ください。
アースを接続する	**アースは確実に取りつけること** 故障や漏電したとき、火災・感電の恐れがあります。アースの取付は販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。
接触禁止	**金属製ダクトが、メタルラス張りなどの金属造営材を貫通するときは、金属造営材に接触しないこと** 漏電したとき、火災・感電の恐れがあります。
取付禁止	**内釜式風呂を設置した住宅には取りつけないこと** 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。
吸気を確実に	**自然排気型ストーブがある部屋に据えつけるときは、ドアなどに空気取り入れ口をつけること** 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。
交流100V使用	**電源は交流100Vを使うこと** 交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の恐れがあります。

⚠注意

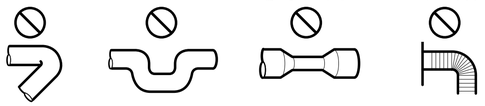
取付禁止	**浴室内には壁スイッチを取りつけないこと** 火災・感電の恐れがあります。
炎禁止	**炎が接近したり、あたる恐れのある場所には取りつけないこと** 火災の恐れがあります。
確実に取りつける	**強度のある場所に確実に取りつけること** 落下により、けがをする恐れがあります。
確実に取りつける	**本体カバーや部品は確実に取りつけること** 落下により、けがをする恐れがあります。
電気工事士が実施	**電気工事・アース工事は電気工事士（※）が行うこと** 電気工事士以外の人が工事をすると、火災・感電・けがの恐れがあります。 ※：電気工事士への依頼はお買上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
取付禁止	**浴室など湿気の多いところは取り付けないこと** 火災・感電の恐れがあります。

取付上のお願い

- 次のような場所には取り付けないでください。
  1. 高温（40℃以上）になる場所
     ①ガスレンジの真上
     ②ガス湯沸器の真上（横方向へ50cm以上離してください。）
  2. 浴室など湿気の多い場所
  3. 台所など油煙の多い場所
  4. 腐蝕性ガスの発生する場所
- 点検口を必ず設けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。



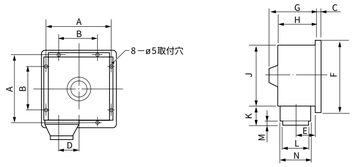
（1）極端な曲げ　（2）多数回の曲げ　（3）接続ダクト径を極端に小さくする　（4）排気口のすぐ近くでの曲げ



- ダクトと排気口をテクスねじなどで止めないでください。
  シャッターが開かなくなる恐れがあります。
- 地域によってはジャバラが使えないことがあります。
  （詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください。）
- 共同ダクトへ排気するときには、建築基準法施行令により防火の役割を果たすものを使用することが義務づけられていますので、2mの鋼板立上がりダクトを取り付けるか、システム部材の防火ダンパーを取り付けてください。
- 効率よく排気させるため排気ダクトと同じ大きさの空気の取入口を部屋の反対位置に設けてください。
- 常時換気用として使用するとき
  常時換気を有効に行うために、居室に専用吸気口やドアのアンダーカットなどを設置し、空気の流通経路を確保してください。

製品寸法

（単位mm）



形　名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	木枠内寸	ダクト呼び径
DVF-G14RDA3, G14RDAC3	242.5	140	12.5	0	119.5	280	198	125	217	106.5	φ98	30	φ109	□225	φ100
DVF-18RDA3, 18RDAC3	290	180	14	58	128.5	330	240	233	270	101	φ143	30	φ160	□275	φ150
DVF-20RDA3, 20RDAC3	335	221	15	86	130	370	255	243	309	101	φ143	30	φ160	□316	φ150
DVF-23RDA3, 23RDAC3	383	220	15	108	152	420	274	252	358	101	φ143	30	φ160	□363	φ150
DVF-G14FPDA3	242.5	140	17	0	119.5	280	198	125	217	106.5	φ98	30	φ109	□225	φ100
DVF-18FPDA3	290	180	22	58	128.5	335	240	233	270	101	φ143	30	φ160	□275	φ150
DVF-20FPDA3	335	221	25	86	130	370	255	243	309	101	φ143	30	φ160	□316	φ150
DVF-23FPDA3	383	220	25	108	152	420	274	252	358	101	φ143	30	φ160	□363	φ150

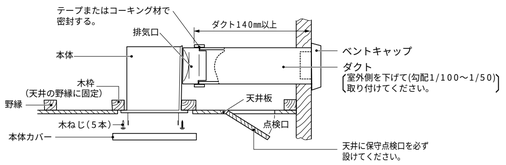
付属品の確認をしてください。

- 木ねじ5本（本体固定用・排気口固定用）　φ4.1×25ℓ
- 取付ボルト1本（本体仮止め用）

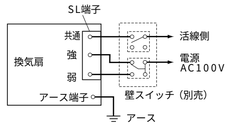
取付方法

- 取付工事前に本体に異常音、変形などの異常がないか確認してください。
- 取付時、板金部品の端面で手を滑らせると手が切れる場合がありますので手袋の着用をおすすめします。

取付図



配線図　※太線部を結線する

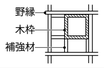


◆建築基準法対応機械換気設備として設置される場合の壁スイッチは、「換気システム用壁スイッチ」を使用するなど建築基準法に従って施工してください。

お願い
強弱付の製品は結線を間違え(強弱間にAC100V印加する)ますと、モーター保護のためヒューズがきれます。正しく配線した後、ヒューズを交換してください。
ヒューズのサービスコードは本体内部の形名表示に並記してあります。

A.木枠に取り付けるとき

A-1 木枠内寸に合わせて木枠をつくり野縁に固定します。

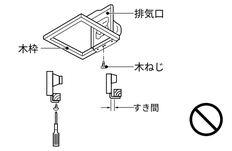


お願い
製品の質量に十分耐えるよう木枠を補強材等で野縁に固定します。

形　名	木枠内寸	製品質量
DVF-G14RDA3, G14RDAC3	□225	2.6kg
DVF-G14FPDA3	□225	2.5kg
DVF-18RDA3, 18RDAC3	□275	4.7kg
DVF-18FPDA3	□275	5.3kg
DVF-20RDA3, 20RDAC3	□316	5.7kg
DVF-20FPDA3	□316	6.0kg
DVF-23RDA3, 23FPDA3	□363	10.0kg

A-2 排気口を固定します。

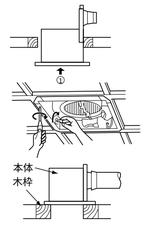
排気口を木枠のかどにすき間がないように附属の木ねじ1本で固定します。



お願い
工事をするときシャッターを変形させないでください。

A-3 本体を木枠に固定します。

① 本体を木枠にはめ込みます。
② 附属の取付ボルトで仮固定します。
（安全のためそのままにしておいてください。）
③ 木ねじ（4本）で本体を木枠に固定します。

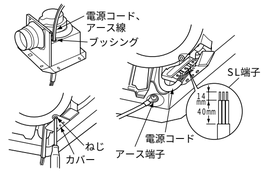


お願い
- 本体の固定は排気口に密着させてください。風もれの原因になります。
- 本体を木枠の上に固定しないでください。

A-4 電源コードとアース線を接続します。

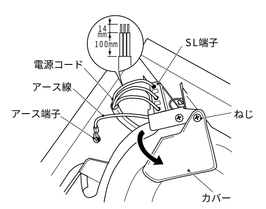
■ DVF-G14RDA3, G14RDAC3, G14FPDA3

① 本体上部のブッシングから電源コード（VVFφ1.6, φ2）、アース線を差し込みます。
● VVFは3芯を使用してください。
② カバーのねじをゆるめ、カバーをあけます。
③ SL端子に電源コードの芯線を確実に奥まで強く差し込んでください。
（電源被ふくは14㎜むいてください。）



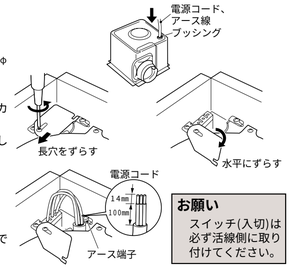
■ DVF-18RDA3, 18RDAC3, 18FPDA3

① 本体上部のブッシングから電源コード（VVFφ1.6, φ2）、アース線を差し込みます。
● VVFは3芯を使用してください。
② カバーのねじをゆるめ、カバーを約90°水平にずらします。
③ SL端子に電源コードの芯線を確実に奥まで強く差し込んでください。
（電源被ふくは14㎜むいてください。）
（差込穴と位置はラベルの表示に従ってください。）
④ カバーをもとにもどしねじを締め付けます。
⑤ アース端子にアース線を取り付けます。
⑥ 電源コードおよびアース線は本体の外側付近で70㎜以上たるませてください。



■ DVF-20RDA3, 20RDAC3, 20FPDA3
23RDA3, 23FPDA3

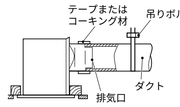
① 本体上部のブッシングから電源コード（VVFφ1.6, φ2）、アース線を差し込みます。
● VVFは3芯を使用してください。
② カバーのねじをゆるめ、長穴を移動してからカバーを約90°水平にずらします。
③ SL端子に電源コードの芯線を確実に奥まで差し込んでください。
（電源被ふくは14㎜むいてください。）
（差込穴と位置はラベルの表示に従ってください。）
④ カバーをもとにもどしねじを締め付けます。
⑤ アース端子にアース線を取り付けます。
⑥ 電源コードおよびアース線は本体の外側付近で70㎜以上たるませてください。



お願い
スイッチ(入切)は必ず活線側に取り付けてください。

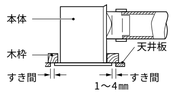
A-5 排気口にダクトをはめ込みテープまたはコーキング材で密封します。

お願い
ダクトは室外側を下げて(勾配1/100～1/50)、吊りボルトなどで保持してください。



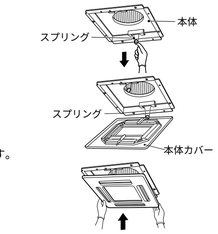
A-6 天井板を貼り付けます。

お願い
本製品は本体を天井よりはずせる構造としてありますので天井板と本体のフランジとのスキマが1～4㎜になるようにしてください。



A-7 本体カバーを取り付けます。

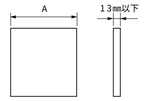
① 本体からスプリングを止まるまでゆっくりと真下へ引き出します。
② スプリングに引掛金具を引っ掛けます。
③ 本体カバーをそのままゆっくりと押し上げます。

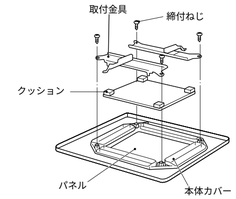


FPタイプ　パネルと天井材をあわせる場合（DVF-G14FPDA3はパネル交換できません。）

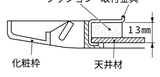
① 天井材をパネルと同じ寸法に切断します。
（取り付けられる天井材の厚みは13㎜以下です）
② 取付金具の締付ねじを取りはずします

形　名	□A
DVF-18FPDA3	190
DVF-20FPDA3	204
DVF-23FPDA3	250





③ 天井材とパネルを入れ換えます。
※本体カバーとのすき間がないようクッションを切断して調整します。
※締付ねじはあまり強く締め付けないでください。



B.吊下金具を使用するとき

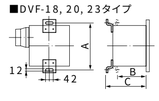
B-1 吊下金具は別売部品を使用します。

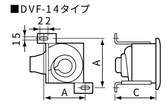
- 吊下金具を使用して取り付けたとき、本体の取りはずしはできません。

タイプ	吊下金具
DVF-14	DV-2T
DVF-18 DVF-20 DVF-23	DV-1T

B-2 次図を参照してアンカーボルトを埋め込みます。

■DVF-18, 20, 23タイプ　■DVF-14タイプ





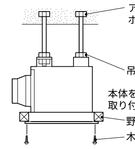
タイプ	A	B	C
DVF-14	253	—	146
DVF-18	314	205	263
DVF-20	356	213	271
DVF-23	403	223	280

B-3 排気口を本体に固定します。

排気口の切り起こしを右図のように、ペンチなどで曲げ、本体に固定してください。

B-4 本体をアンカーボルトに取り付けます。

お願い
- 本体が水平になるように取り付けてください。
- 本体を木枠の上に固定しないでください。
- 本体は木ねじで野縁（4面）に固定してください。



B-5 以後の取り付けはA - 4・5・6・7を参照してください。

以上で取り付け完了です

つぎの点検を行ない異常がないか確認してください。

- 製品の取付強度が十分なこと。
- 運転したとき異常音、異常振動がないこと。
- 本体カバーが確実に取り付いていること。

東芝キヤリア株式会社